

# 「思考し、表現する力」を高める実践モデルプログラム



## 活用事例



概要	
学校名	市原市立姉崎東中学校
活用方法	実践モデルプログラムの「自分で取り組む」場面に焦点を当てて、各教科ともに「自分の考え」を授業ごとに記述するノートづくりの工夫に取り組み、授業改善を行う一助としている。
成果等	指導案検討や授業の相互参観時に「課題設定・発問」「学習方法」等について「自分で取り組む」生徒の姿を話題の中心にして、教職員同士で授業改善について考え、話し合うようになった。

### 【生徒のノートの実際】

### 【成果と課題】

6月24日(月)

自分の吹き出しスペースとして書き込ませる。

目標 植物のはたがきと図でまとめてみよう！

〈植物のはたがき〉

- ・光合成
- ・呼吸
- ・蒸散

〈自分の考え〉

- A 光合成
- B 蒸散
- C 呼吸
- 水蒸気
- A 酸素
- B 二酸化炭素
- じんぷん

他の考えや、班で話し合いまとめたこと。  
※予想の根拠が付け加えられている。

〈班の考え〉

- A 光合成
- B 呼吸
- C 蒸散

○ = 水  
△ = 二酸化炭素  
□ = 酸素  
○ = デンプン

自分の考えと班の考えの違いも記録されている。

① 太陽を取り入れ、二酸化炭素を吸い、酸素を出しているから。  
② 口を吸いこんで、△を出しているから。  
③ 根から土から水外を吸収し出しているから。  
④ 根から水を吸収しているから。  
⑤ Bは呼吸のはたがきをして、△を吸い、口を出しているから。  
⑥ Aのはたがきで酸素を出さ、二酸化炭素を吸っているから。  
⑦ Aのしくみにはデンプンが取り入れられているから。

### 成果

○指導案づくりや授業実践等で「主体的・対話的で深い学び」を意識し、取り組んだ。

### 課題

○個（授業等で、指導内容を十分に習得できない生徒）への対応について不安が残る。

### 自校校内研修から

○各教科で「どのような視点で物事を捉え、どのような考え方で思考していくのか」が明確にわかるようなノートづくりを工夫する。

○ノートから自分の考えをまとめたものを学習新聞作りで活用した。⇒「個への支援」充実へつなげるノート指導へ⇒「ノートでの教師と生徒のやりとり」や「自分の考えが書かれたノートの紹介」など。